

JICA 国際緊急援助隊（JDR：Japan Disaster Relief）の感染症対策チーム、Infectious Disease Response Team

JICA の JDR の感染症チーム（感染症対策チーム、Infectious Disease Response Team）」は、国際緊急援助隊（JDR：Japan Disaster Relief）の一部として、感染症が発生・流行している国・地域に対して迅速かつ専門的な支援を行うためのチームです。従来の JDR 医療・災害支援チームは主に自然災害対応を想定していたため、感染症流行（アウトブレイク）対応には十分な体制が備わっていませんでした。特に 2014～2015 年の西アフリカにおけるエボラ出血熱の対応で、感染症対応能力の強化が必要であることが顕在化しました。そこで、2015 年 10 月に JDR 内に「感染症対策チーム」が新設され、感染症アウトブレイク時にも独立して、あるいは他のチームと協調して支援を実施できるよう体制を整えました。

チームは以下の専門別に分かれています。疫学、検査・診断、診療・感染制御、公衆衛生対応、ロジスティック。

2019 年 10 月ごろ、サモア独立国で麻疹流行が確認され、同年 11 月にはサモア政府が緊急事態宣言を発令しました。流行は拡大し、発生数、死亡者数ともに急増しており、医療体制が逼迫しました。サモア政府からの要請を受け、日本政府は 国際緊急援助隊

（JDR）・感染症対策チーム を派遣することを決定され、JDR 感染症チーム派遣として初の診療チームが派遣されました。その中のメンバーの多くは長崎大学チームで混成され（医師 3 名、薬剤師 1 名が長崎大学メンバー）、田中健之教授が診療チームリーダーとして二次隊を率い、山内桃子助教もそのチームに参加しました。当学総合診療科の山梨啓友准教授も一次隊医師で参加しております。その後、JDR 感染症チームの登録メンバーへの定期訓練には JDR 作業部会の委員として田中教授と山梨准教授が担当しています。

サモア麻疹派遣 JICA ホームページ記事

https://www.jica.go.jp/information/topics/2020/20200804_01.html

サモア麻疹 JDR 報告書

<https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12356242.pdf>

臨床

感染症海外支援

サモア独立国の麻疹アウトブレイク（緊急事態宣言）に対する JICA国際緊急援助隊（JDR）・感染症対策チーム派遣2019年12月

- ・診療班チームリーダーとしての麻疹等の感染症診療ミッション
- ・現地保健省やWHOとの日本チームの調整役も担当

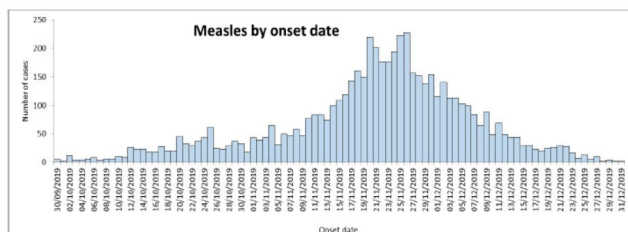


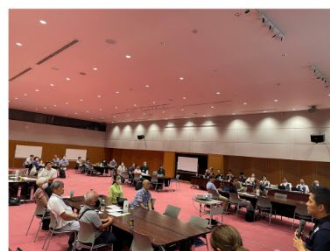
Figure 2. Epicurve - Measles in Samoa by date of onset, date of report: 6 January 2020 (N=5,697).
Source: Health Emergency Operations Centre (HEOC) Situation Report, Ministry of Health Samoa; Incident Name: Measles outbreak - October 2019; Sitrep No. 51.



田中, 他. IASR Vol. 41 2020年4月号

臨床

JICA国際緊急援助隊・感染症対策チーム（JDR） 登録メンバーへの研修講師



- ・JDRは感染症対策に係る疫学、検査診断、診療・感染制御、公衆衛生対応、ロジスティックの5つの分野で構成
- ・診療・感染制御班の作業部会委員として、JDRの全国プール人材への教育・指導を担当